

第10期せつつ高齢者 かがやきプラン

摂津市高齢者保健福祉計画
介護保険事業計画
策定に向けて



【目次】

1. かがやきプランとは
2. 今後の状況について
3. 第10期計画の方向性
4. アンケートの概要
5. 今後のスケジュール

1. かがやきプランについて

せつつ高齢者かがやきプランとは・・・

高齢者保健福祉計画と介護保険事業計画を一体的に作成する計画。

3年ごとに策定され、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、介護予防、生きがいづくりなど、高齢者に関する各施策の総合的な推進を図るために策定するもの。

高齢者保健福祉計 画

- ・ 老人福祉法第20条の8の規定による「老人福祉計画」。
- ・ 介護保険制度とそれ以外のサービスを組合せ、生きがい・健康づくりなど、高齢者福祉に関する全般的な施策を定める、保健福祉事業における総合的な計画。

介護保険事業計 画

- ・ 介護保険法第117条の規定による「介護保険事業計画」。
- ・ 介護保険制度の円滑な実施に向けた取り組み内容とその目標や介護保険サービスの給付見込量、介護施設等の整備など、介護保険事業において実施する施策を担う計画。

1. かがやきプランについて

保健福祉事業

市の費用（市民等から市税としていただいた税金）をもとに実施する事業

- ・ ライフサポーターによる見守り訪問
- ・ 緊急通報装置の設置
- ・ いきいきカレッジの実施 等

介護保険事業

市の費用のほかに、国、府の費用、介護保険料をもとに実施する事業

- ・ 介護保険サービス
- ・ 介護予防のつどい場
- ・ 配食サービス 等

1. かがやきプランについて

本計画は、3年ごとに見直しを行うこととなっており、
次期計画である第10期計画の計画期間は、

令和9年度（2027年度）～令和11年度（2029年度）となります。

団塊の世代が75歳となる令和7年（2025年）を経て、85歳人口が
ピークとなる令和17年（2035年）、団塊ジュニア世代が65歳以上となる
令和22年（2040年）を見据えて、中・長期的な視点で施策を展開する。



2. 今後の状況について

- ・生産年齢人口が減少し、社会保障を支える担い手不足が深刻化する。
- ・85歳以上人口の急速な増加により、要介護認定率が上昇する。
- ・認知症高齢者や独居高齢者等が増加する
- ・要介護認定率・介護度の上昇により給付費・保険料が上昇する。

2. 今後の状況について

- ・地域包括ケアシステムの深化・推進を図り、介護人材の確保や介護現場の生産性の向上を図るなどの具体的な方策を定めることが重要となる。
- ・高齢者の単身世帯や85歳以上人口が増加する中で、医療と介護の双方のサービス需要がさらに増加し、多様化していくことが想定され、医療・介護連携の必要性が今まで以上に高まる。
- ・増大する介護ニーズに的確に応えるため、介護人材の確保が必要となる。

3. 第10期計画の方向性について

- (1) 地域包括ケアシステムの推進
(多様なニーズに対応した介護の提供・整備、
医療と介護の連携、経営基盤の強化)
- (2) 認知症施策の推進・地域共生社会の実現
(相談支援、住まい支援)
- (3) 介護予防・健康づくりの推進
- (4) 保険者機能の強化
(地域づくり・マネジメント機能の強化)
- (5) 持続可能な制度の構築、介護人材確保・職場環境改善
(介護現場におけるテクノロジー活用と生産性向上)

10期の指針は
令和8年に
示される予定

4. アンケートの概要について

	介護予防・日常生活圏域 ニーズ調査	在宅介護実態調査
調査 目的	65歳以上の高齢者で、要介護認定を受けておられない方を対象に、日常生活圏域ごとに、要介護状態になる前的高齢者のリスクや社会参加状況を把握することで、地域診断に活用し、地域課題を特定することにより、 介護予防日常生活支援総合事業の評価に活用することを目的として実施するもの。	在宅で要介護認定を受けておられる方を対象に、 これまでの地域包括ケアシステムの構築という観点に加え、介護離職をなくしていくためにはどのようなサービスが必要かといった観点を盛り込むため、「高齢者等の適切な在宅生活の継続」と「家族等介護者の就労継続」の実現に向けた介護サービスの在り方を検討することを目的として実施するもの。

4. アンケートの概要について

	介護予防・日常生活圏域 ニーズ調査	在宅介護実態調査
対象	○市内在住の65歳以上の高齢者 1,500人 ○市内在住の50歳から64歳の人 500人 ※いずれも、要介護1～5の人を除く 想定回収数：1,200人（60%）	○要介護認定を受けている人 1,200人 ※住所が要介護施設にある人を除く 想定回収数：720人（60%）
内容	国が示す必須項目に加え、 オプション項目と 市の独自項目については検討中。	国が示す基本項目に加え、 オプション項目9問。 市の独自項目については検討中。
設問数	A4版 16頁・設問数60問程度	A4版 10頁・設問数25問程度
時期	令和7年12月～令和8年1月 令和8年1月～令和8年2月 令和8年3月上旬 令和8年3月下旬	調査票発送・回収 アンケート集計・データ分析 調査報告書案の作成、審議会での提示 報告書データ完成・納品

5. 今後のスケジュール（令和7年度）

令和7年度	日 程	主な内容
第1回 審議会	7月18日（金）	・第9期の進捗状況の確認 ・第10期の計画策定に向けた説明
説明会①	令和7年 夏頃	・計画作成に向けたアンケート調査等に関する説明会
第2回 審議会	令和7年 11月頃	・アンケート調査項目（案）を共有
アンケート	令和7年 12月頃	・各自治体において、計画作成に向けたアンケートを実施
第3回 審議会	令和8年 3月頃	・アンケート調査結果を共有
説明会②	令和8年 3月頃	・各種アンケート調査結果の活用事例の提示

5. 今後のスケジュール（令和8年度）

令和7年度	日 程	主な内容
説明会	令和8年7月頃	・ 第10期計画に関する基本指針（案）の提示
第1回 審議会	令和8年8月頃	・ 第10期計画の基本指針
第2回 審議会	令和8年10月頃	・ 第10期計画（骨子案）
第3回 審議会	令和8年12月頃	・ 第10期計画（案）
第4回 審議会	令和9年1月頃	・ パブリックコメントのお知らせ ・ 審議会答申（案）
パブコメ	令和9年2月頃	・ 市民向けにパブリックコメントを実施
第5回 審議会	令和9年3月頃	・ パブリックコメントの結果報告 ・ 第10期せつつ高齢者かがやきプラン ・ 審議会答申（確定）